

平成22年1月21日

資料

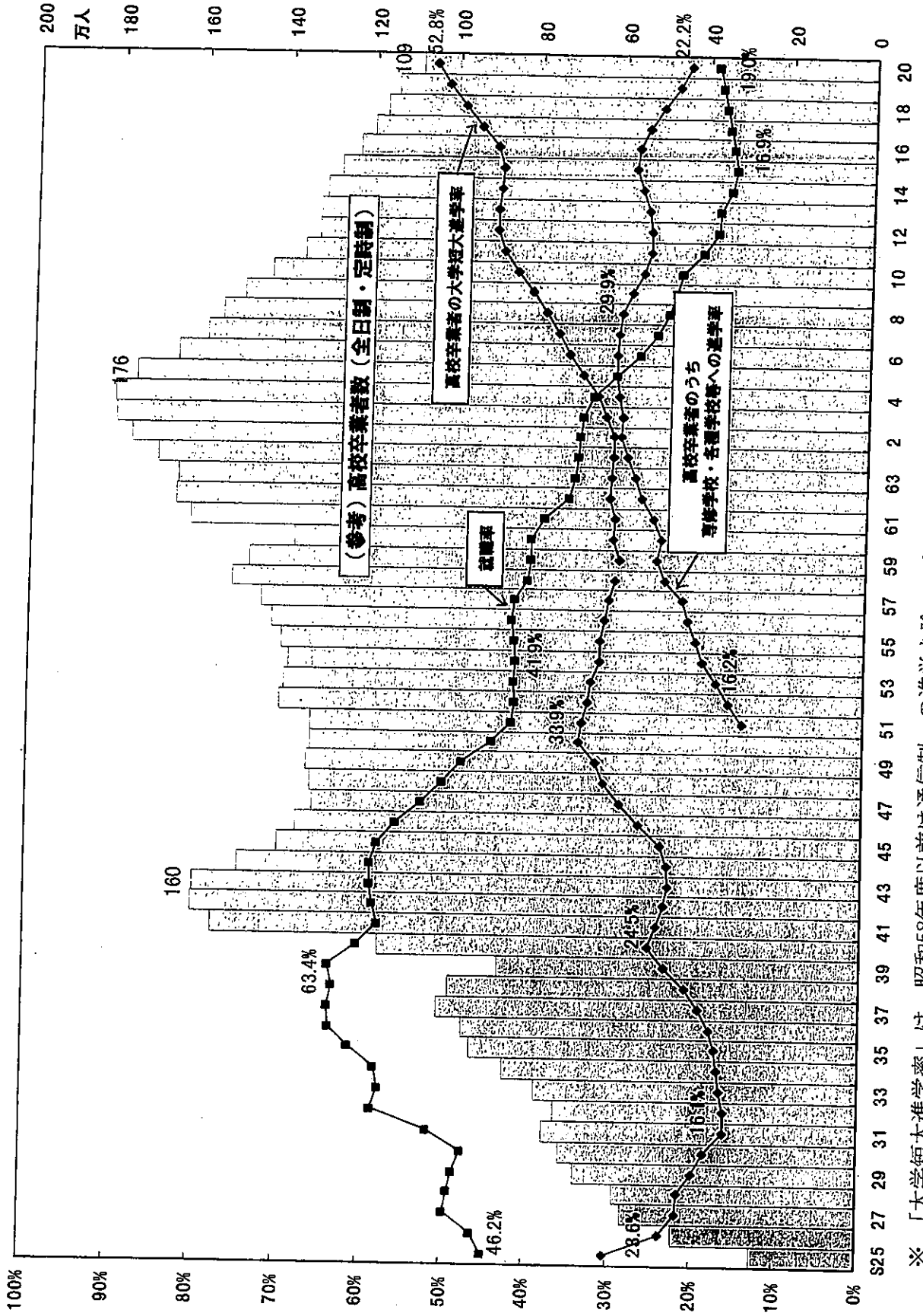
第2次福岡市立高等学校活性化検討委員会（第2次会議）

第2回会議

<福翔高等学校の活性化について>

<博多工業高等学校の活性化について>

# 高等学校卒業者の進路状況の推移



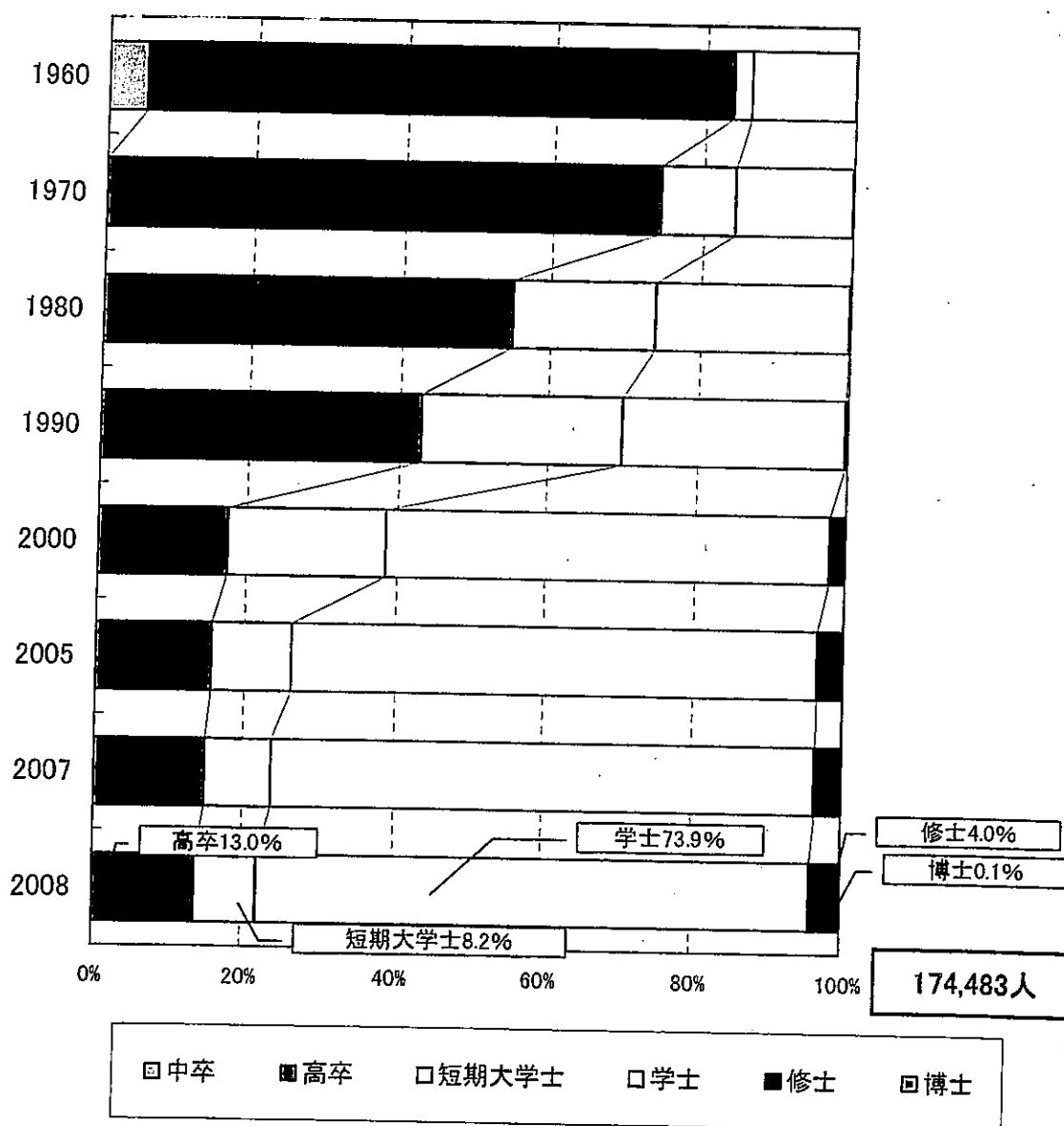
※ 「大学短大進学率」は、昭和58年度以前は通信制への進学を除いており、厳密には昭和59年度以降と連続しない。

(出典)文部科学省「学校基本調査」

中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて(答申)」 図表より

## 新規学卒就職者（事務従事者）の学歴構成

○ 新規学卒就職者の中心となる事務従事者については、約7割が学士取得者



※ 「事務従事者」は、全体の就職者(約72万人)のうち、約23%(約17万人)を占める(2007年度)。「事務従事者」とは、一般に課長(課長相当職を含む)以上の職務にあるものの監督を受けて、庶務・文書・人事・会計・調査・企画などの仕事、運輸・通信・生産関連・営業販売・外勤に関する事務及び事務用機器の操作の仕事に従事するものをいう。一般事務従事者、速記者、タイピスト、電子計算機オペレーターキーパンチャー、秘書、出改札係、電気・ガス等の検針・集金人、営業・販売事務員(営業・販売事務員、販売伝票記録整理員)等。

(出典)文部科学省「学校基本調査速報」(平成20年度)

中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて(答申)」図表より

## 福岡市立博多工業高等学校の選科について

### 1. 選科の基本的な考え方

- ・選科の決定は選科判定会議を通して学校長が決定する。  
選科判定通知書を保護者に配布し確認書の提出を必ず求め、管理職がその確認書を保管する。選科に関する問題等が発生した場合には管理職が対応する。
- ・科の定員は定数±2名とする。(科の施設設備の関係から)
- ・選科決定後に選科判定会議を通してコースの決定を行う。(※選科には戻らない)  
選科(コース)判定通知書を保護者に配布し確認書の提出を必ず求め、管理職がその確認書を保管する。

### 2. 選科を行うために

- ・生徒が科を選択するための方策として
  - ・選科ガイダンス(4回)  
入学時より選科ガイダンスを実施し、科の学習内容・進路先(就職・進学)の説明を行い生徒の学科の学習内容の理解を深める。  
第1回目: 各類の特徴と学科説明・専門科目(進学コース)  
第2回目: 学科の専門科目の内容と進路(就職先の実績と進学先)  
第3回目: 各科におけるコースの具体的な内容  
第4回目: 適正検査(一部の類では適性検査・作文)
  - ・選科個人面接(2回)  
選科ガイダンス後に、第1回の選科面接を実施し、生徒の学科希望を把握する。記録を集約。その後、選科ガイダンス・実習見学・実習体験を通して、科の理解を深め対上で、第2回の選科面接を実施し、科の希望を集約。

※4回の選科ガイダンスと選科面接により、それぞれの科への希望は約40:40(I類80:40)となっている。

各コースの目標・特色について

類	学科	コース名	コースの目標・特色	卒業後の主な進路	取得可能・有利となる資格	
I類 (機械・自動車)	機械科	機械一般コース	機械の基礎技術・生産技術等を習得し、工業人としての素質の向上をはかり、機械技術者や機械工作のキャリアリストを育成する。	製造、技術職、検査員、オペレーター オートバイエンジニア 技術職、製缶工、設備工事配管技術者 ガソリン設備の保守・点検 機械計測技術師	機構加工技能士 溶接技術者 (ボイラー技術士) (冷凍機械主任者) ボイラー技術士 冷凍機械主任者 (機械加工技能士) (溶接技術者)	
		自動車工学コース	自動車の専門的な知識・技術を高めるとともに、機械全般の知識を広く学習し、自動車製造関連技術者を育成する。	自動車製造業 自動車部品製造業 自動車整備業 自動車部品販売業 自動車販売業 その他自動車関連業	危険物取扱者 ガス溶接技術者 アーク溶接技術者 計測技術者 情報技術者 製図	
	自動車工学科	自動車整備コース	自動車の専門的な知識・技術を高めるとともに、特にその整備について深く学習し、自動車整備関連技術者を育成する。	自動車整備業	三級自動車修理エンジニア シン・ティセムエンジニア 整備士	危険物取扱者 ガス溶接技術者 アーク溶接技術者 計測技術者 情報技術者
		室内工芸コース	室内環境を構成する製品について、木材を主とする材料の種類・特徴・加工技術を学び内装家具・建具技術者としての知識と技術を習得させる。	家具製造業 内装工事業全般 住宅・店舗・オフィスの設計・管理 CADオペレーター	家具技能者、建具技能者 二級建築士	インテリアコーディネーター インテリアデザイナー インテリアコーディネーター 福祉住環境コーディネーター インテリア検定 インテリア検定
II類 (インテリア・建築)	インテリア科	室内計画コース	室内環境を構成する能力を養い、住宅・店舗・事務所等の室内空間の計画・設計を主として指導し、室内デザイナーナード及び室内設計者としての基礎的な知識と技術を習得させる。	総合建築会社における現場管理、建築現場の製作管理、インテリアの製作管理、設計事務所、積算事務所の業務など	建築製図技術者 計測技術者 インテリアコーディネーター インテリアデザイナー インテリアコーディネーター ガス溶接技術者 アーク溶接技術者	
		施工管理コース	建築現場における施工管理技術者を希望する生徒に必要な知識や技術を学習・習得させる。	二級管理施工技術者 (二級建築士)	二級建築士 (二級管理施工技術者)	
	建築科	建築士コース	建築設計者としての技術を伸ばし、建築士を目標として資格取得のための専門知識を学習・習得させる。	二級建築士 (二級管理施工技術者)	二級建築士 (二級管理施工技術者)	
III類 (画像・電子情報)	画像工学科	グラフィックコース	パソコンを利用したレンダリングやポスターやイラストレーション・組版・製版処理を行う、美しいイラストレーション・技術者を育成する。	総合印刷業種 マルチメディア業種 出版業種 DTP業種 文書処理業種 製版・印刷業種	情報技術者 ワープロ検定 パソコン検定 表計算検定 漢字検定 レタリング検定 危険物取扱者	
		マルチメディアコース	デジタルデータによる情報宣伝物を企画から制作までを行い、Web、CG、アニメーション、デジタルビデオ作品などを作る技術者を育成する。	電子・電気に関する基礎的な知識と技術を身に付けた技術者 電子・電気業界の業務に適用できる能力を身に付けた技術者	ラジオ・管線技術者 アマチュア無線技術者 CAD利用技術者 デジタル技術者 情報技術者 ワープロ検定 パソコン検定 危険物取扱者	
	電子情報科	情報技術コース	情報技術 (コンピュータ利用技術等) に関する基礎的な知識と技術を身に付けた技術者を育成する。	電子機器・電気機器・情報通信機器・OA機器等の販売・保守・サービス業、コンピュータ関連業 (ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク)	第二種電気工事士 基本情報技術者	
進学コース			4年間大学、短期大学	※資格は、高校在学中に取得できるものや、卒業後一定の期間関係職種に従事し受験し取得できるもの、卒業後一定の期間関係職種に従事し取得できるもの等、その取得に関して違いがある。		

# 進路別決定状況一覧

(1)進路別内訳

2009年3月19日現在

	卒業 者数	就職					就職 者 合 計	進学			進 路 未 定	そ の 他 未 定
		一般企業		公務員	自 営	縁 故		大 学	短 期 大 学	各 種 学 校 等		
		県 内	県 外									
機械1	41	32		1	0	0	33	8			0	0
		17	15					7	0	1		
機械2	41	39		0	0	0	39	2			0	0
		15	24					2	0	0		
インテリア	34(10)	13(1)		0	0	5(3)	18(4)	15(5)			0	1(1)
		9(1)	4					6(2)	1(1)	8(2)		
建築	38(3)	21(1)		1	0	4(1)	26(2)	10			0	2(1)
		15(1)	6					6	0	4		
画像工学	35(20)	19(8)		0	0	5(5)	24(13)	8(5)			1(1)	2(1)
		11(7)	8(1)					3(1)	1(1)	4(3)		
自動車工学	31	19		0	0	0	19	10			1	1
		8	11					6	1	3		
電子情報科	36(1)	27(1)		0	0	0	27(1)	8			0	1
		10	17(1)					6	0	2		
計	256(34)	170(11)		2	0	14(9)	186(20)	61(10)			2(1)	7(3)
		85(9)	85(2)					36(3)	3(2)	22(5)		

注1) ( )内は女子の人数

## 産業別求人状況・就職状況

産業分類番号	求人社数	求人数	就職者数		
			計	男	女
A, B, C, 農, 林, 漁業(01~04)					
D 鉱業(05)					
E 建築業(06~08)	119	169	30	30	
F 製造業(09~32)	237	315	92	88	4
09 食料品製造業	14	20			
10 飲料・飼料・たばこ製造業	4	5	1	1	
11 繊維工業	1	1			
12 衣服・その他の繊維製品製造業	4	4			
13 木材・木製品製造業	1	1			
14 家具・装備品製造業	5	9	4	4	
15 パルプ・紙・紙加工品製造業	12	16			
16 出版・印刷・同関連産業	27	31	9	8	1
17 化学工業	2	2	1	1	
18 石油製品・石炭製品製造業	1	2			
19 プラスチック製品製造業	4	4	1	1	
20 ゴム製品製造業	2	2			
21 なめし革・同製品・毛皮製造業					
22 窯業・土石製品製造業	2	2			
23 鉄鋼業	15	18	7	7	
24 非鉄金属製造業	3	3			
25 金属製品製造業	14	21			
26 一般機械器具製造業	34	49	16	16	
27 電気機械器具製造業	23	31	11	11	
28 情報通信機械器具製造業	6	8	2	2	
29 電子部品・デバイス製造業	10	14	7	6	1
30 輸送用機械器具製造業	46	63	26	25	1
31 精密機械器具製造業	6	7	7	6	1
32 その他製造業	1	2			
G 電気・ガス・熱供給・水道業(33~36)	3	5	2	2	
H 情報通信業(37~41)	21	36	6	4	2
I 運送業(42~48)	40	69	4	3	1
J 卸売・小売業(49~60)	102	126	13	9	4
49~55 卸売業	41	53	10	7	3
56~60 小売業	61	73	3	2	1
k 金融・保険業(61~67)	5	5			
L 不動産業(68・69)	4	4	3	2	1
M 飲食店・宿泊業(70~72)	62	114			
N 医療・福祉(73~75)	7	15			
O 教育・学習支援(76・77)	2	2			
P 複合サービス事業(78・79)					
Q サービス業(80~94)	156	194	31	25	6
R 公務(95・96)	1	1	5	3	2
S 分類不能の産業(99)					
合計(A+B+...+N)	759	1055	186	166	20

注1) 就職者数の数値には公務員、その他を含む

## 【 ジュニアマイスター顕彰制度 】

名称：全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度（平成13年度～）

趣旨：工業系の生徒が目的意識を持って一層意欲的に学習に取り組むことを促す上で、生徒達が、職業資格の取得や技術・技能検定の合格を通して、工業に関する知識・技術・技能を修得し、自信と誇りを持って産業界で活躍できるよう、知識・技術・技能を積極的に評価することが重要であると認識し顕彰する。

運営：全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰制度委員会

- 内容：1 顕彰制度実施要項により、ジュニアマイスター顕彰に係わる区分表で、取得した資格や合格した検定等について、それぞれ得点換算を行う。  
2 得点の合計により、  
30点以上「ジュニアマイスターシルバー」  
45点以上「ジュニアマイスターゴールド」の称号を授与する。

現在約150の職業資格・検定と約60のコンテストが登録されている。

例)

\*資格・検定等

計算技術検定	1級…20点	2級…7点	3級…2点
日本漢字検定	1級…12点	2級…4点	3級…1点
技能士		2級…20点	3級…12点
ガス溶接技能講習	1点		
電気工事士	1種…20点	2種…7点	

：

\*競技大会・コンテスト等

高校生ものづくりコンテスト（全国大会）	1位…30点	2, 3位…20点
高校生ものづくりコンテスト（ブロック大会）	入賞…12点	
高校生ものづくりコンテスト（県大会等）	入賞…7点	
高等学校ロボット競技大会	優勝…20点	入賞…12点 地区入賞…4点

：

\*競技大会・コンテスト・コンクール等

工高生デザインコンクール	最優秀…30点	優秀…20点	入選…7点
全国高校生ポスターコンクール	最優秀…7点	奨励賞…4点	入選…2点

ジュニアマイスター・ゴールド認定者数

	H18 認定者数	H19 認定者数	H20 認定者数
博多工業	1	4	
全国：申請校数	443	449	440
全国：ゴールド認定数	2055	2440	2026
平均：1校あたり	4.6	5.4	4.6
福岡県：申請校数	18	16	14
県：ゴールド認定数	95	111	115
平均：1校あたり	5.3	6.9	8.2
全国上位校			
鹿児島工業	38	49	45
熊本工業	21	35	38